



令和 6年 1月 1日

父母の会だより

第54号

豊橋市肢体不自由児(者)父母の会

〈発行責任者〉豊橋市杉山町向井 24-2 中神 達二 TEL/ 0532-23-3217

FAX/ 0532-23-4830 E-mail/rsa34375@nifty.com



野外療育訓練会



ひさしぶりに、
のんほいパークへ
行くことができ
楽しかったです。



のんほいパークにて
2023. 9. 24



目次

1. 新年のごあいさつ..... 1
2. かかりつけ医について..... 2
3. 東三ブロック療育キャンプ2023..... 3
4. 豊障連 夏祭り..... 5
5. 野外療育訓練会 のんほいパーク..... 6
6. 豊障連 体育祭..... 7
7. わいわいカーニバル..... 8
8. ボランティアの集い..... 9
9. みんなのコミュニケーション..... 10
10. 愛知県心身障害児(者)福祉大会..... 13
11. 友だち紹介..... 14
12. 今後の行事予定・あとがき..... 15

僕は絵を描くのが難しいので、妹が撮った動物園の動物たちの写真とフリー素材のイラストを組み合わせ作品を作りました。イラストにかわいい親子のペンギンを使ったのは、父母の会の会員さんをイメージしたからです。

民間会社の在宅嘱託社員 渡辺 洋文 38歳

<https://fubonokai-toyohashi.com>



父母の会公式 LINE

新年のごあいさつ



会長 中神 達二

新年あけましておめでとうございます。

甲辰（きのえたつ）の新しい年をみなさまいかがお迎えでしょうか。辰は干支の5番目に位置します。

辰年生まれの方は、自分なりのポリシーがあり、マイペースな性格で自分の意見には確固たる自信を持っており、揺らぐことはありません。裏表がない性格で、感性豊かな芸術的な才能に溢れている人が多いと言われています。しかし好奇心旺盛な分すぐに違うことに意識がいきってしまい「熱しやすく冷めやすい」面も持ち合わせている様です。

父母の会は昭和36年9月創立以来63年を迎えることが出来ました。コロナも4年目に入り、体温測定、マスクの着用、三密の回避等感染防止に努めながら、対面行事を復活してきています。心魂プロジェクトによる生のパフォーマンスやクリスマス会でのユースオーケストラの生演奏会等参加者全員が久しぶりに催し物を堪能することが出来ました。その他の行事でも会う機会が増えてそれぞれ会話が弾みました。

豊橋市は昨年10月より、医療的ケア児者の移動支援事業が始まり、社会参加増と保護者の負担が軽減されることになりました。医療的ケアがあっても積極的に社会に出ていきましょう。

災害対策で近頃重要視されているのが避難は自宅が基本という事です。R3年5月に災害対策基本法が改正され自宅避難が認められました。それまでは避難所、避難所と言われていましたが、避難所での生活や移動リスク等を考慮した場合、自宅の方が安全であると再認識されたものです。災害に無理なく備えましょう。

本年も特別支援学校やあゆみ学園・施設関連を中心に会員増強を図り、活力のある組織づくりに努め、会員相互の親睦、相談体制の充実、必要な制度の見直し要望等、福祉の発展に微力ながら努力してまいります。

本年度もご支援者はじめみなさまの温かいご支援、ご協力を賜りますよう引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

令和6年元旦



あけまして
おめでとう

かかりつけ医について考えてみませんか？

厚生労働省は10月にも新たな有識者会議をつくり「かかりつけ医」制度の詳細な議論を始める。2024年夏をメドに案をまとめる。かかりつけ医を1人にしぼらず、患者が自由に選べるようにする方針だ。医療機関がどこまで患者に責任を持ち、実効性のある仕組みになるかが重要になる。

議論の背景には新型コロナウイルスス禍で、発熱時に診察を受けられない事態が相次いだことがある。健康保険証を持つ人は基本的にどの医療機関にもかかることができる。その原則が揺らいだ。

そこでかかりつけ医の議論が浮上した。健康に関して全般的に相談でき、必要に応じて専門医らへとつなぐ存在だ。

財務省や健康保険組合連合会(健保連)は患者が受診する医療機関をか

「かかりつけ医」詳細 来夏に

厚生労働省、新会議で10月議論

医療機関に報告を求める制度を創設
医療機関がかかりつけ医の役割を持っているかを都道府県に報告
都道府県は地域で協議し、かかりつけ医の機能が不足していれば確保策を検討
会議でこれから議論するポイント
かかりつけ医として報告する機能をどう位置づけるか
法律で定めたかかりつけ医の「総合的・継続的な診療」の機能の要件

かりつけ医としてあらかじめ決める「登録制」を提案し公的にお墨付きを与える「認定制」を求めた。厚生労働省は事実上、登録制を見送った。必要なときに迅速に必要な医療を受けられるフリーアクセスの下で、医療機関が地域の実情に応じて連携すべきだなどと説明した。改正医療法が5月に成立し「かかりつけ医機能

報告」制度を2025年に導入することが決まった。日常の診療や在宅医療の有無といったかかりつけ医の機能を医療機関が持っているか都道府県に報告する仕組みだ。

かかりつけ医の持つ機能が各地域で足りていないかを都道府県が協議、改善策を講じる。ただ、改正法は曖昧な部分もある。報告する内容を「継

複数医療機関で機能確保

継続的な医療を必要とする人に総合的かつ継続的に診療を行う機能」といった表現にした。

新たな会議は機能が何かを議論することで、かかりつけ医の要件を詰め、それを受け、厚生労働省が省令で定める。

登録制が見送られたため、患者がかかりつけの医療機関を選択する制度になる見通しだ。全ての患者ではなく、高齢者や障害のある人が選ぶことを想定する。その病院がかかりつけ医の機能を担うかは医療機関が自主的に判断する。

厚生労働省は複数の医療機関が連携してかかりつけ医の役割を果たすことを想定する。財務省は登録制にし、患者に責任を持つかかりつけ医は1人にすると主張していた。

日本医師会は「かかりつけ医はあくまで患者が選ぶものだ」と登録制に反対した。「国民にかかりつけ医を選ぶ権利はあるが、義務ではない」と強調し、かかりつけ医の登録制ではなく、その機能に着目した制度設計が進みつつある。

ただ、医療機関の自主的な申告だけでは十分なかかりつけ医の機能を得られない可能性がある。都道府県が客観的に判断して患者に必要な機能を保てる設計になるかは見通せない。

かかりつけ医の質を求める声もある。あらゆる病気について一通りの治療ができる総合診療医のほか、研修受講や診療実績を開示する案がある。

制度の大体は決まっているが、会議で議論する報告内容がどうなるかが、患者が適切な診療を効率的に受けられるかを左右する。



東三ブロック療育キャンプ 2023 「心魂プロジェクト デリバリーパフォーマンス～Our Story～」

令和5年 10月 15日(日)13:30～15:30

於 あいトピア 多目的ホール

コロナ禍以降、療育キャンプは日帰りのイベントとして開催させていただいています。

今回も様々なイベントを検討した結果、日帰りイベントにしてから学齢児の会員さんの参加が増えてきたこともあり、五類に移行されたとはいえ、まだコロナが収束したとはいええない状況のため心魂プロジェクトさんに7年ぶりにあいトピアでパフォーマンスをしていただくことにしました。

昨年全肢連全国大会でも対面でのパフォーマンスでロワゼルホテル豊橋にきていただきましたが、やはり私たち東三河の父母の会のホームのようなあいトピアに来ていただけるのはアットホームな感じもあり、格別でした。



心魂さんは6年の1月で設立 10周年であることで、今年はそれを記念して夏からオリジナルミュージカルを全国でパフォーマンスをされ、この豊橋でのデリパフォがツアー最終日でした。



スタートはみんなが知っている第九のメロディーの「希望の歌」みんなの目がいきいきとしてきました。

共同代表の寺田さん(まーくん)がこの豊橋での最初のデリパフォのこと、今までの活動の話など熱い思いを語って下さったあとはミュージカル～Our Story～に移ります。

主役のいぶちゃんが自己表現がうまくできず殻に閉じこもり本だけが友達だったのに、みんなの応援で自分もみんなを応援したくなり、自分自身を歌で思い切り表現できるまでに成長するというお話でした。その中での歌は、心魂さんのオリジナル曲だけでなくおかあさんといっしょでおなじみの歌や、その他にもオンラインでも披露されてきたカバー曲も折り込まれ構成されたストーリーだったので、とてもしっくりみなさん鑑賞できたのではないのでしょうか。

普段劇場に足を運ぶことも難しかったり、静かに鑑賞することが困難な方でも一緒に楽しみたい!! 声を出したり動き出してしまうのはその子の自己表現なんだから我慢せずそのままいいんだよ!と いつも声をかけてくださる心魂さん。また来てくださるといいですね。

心魂プロジェクト デリバリーパフォーマンス～Our Story～感想 No.1

10/15(日)あいトピアで、東三ブロック療育事業として、心魂プロジェクトによるミュージカル『Our Story』の講演が行われました。心魂プロジェクトさんは今年で10周年を迎えるそうです。

第一回目のパフォーマンスが同じあいトピアでの豊橋のクリスマス会だったこともあり、特別に感じてくださっているようで嬉しく思いました。そのクリスマス会で初めて心魂に出会った時は小学2年生だった息子も今年高校を卒業します。息子も成長しましたが、心魂プロジェクトさんも急成長を遂げ、どんどんパワーアップしていったらな～と毎回感じます。

この10年間、何度か息子は心魂の講演を見させていただいていますが、今回は特に楽しんでいる様子が見られ嬉しくなりました。

まーくんが話している時は、テンションが下がり眠そうにしていたのですが、音楽が鳴り歌が始まると、分かりやすくパッと目が輝き笑顔になりました。ここまではっきり興味を示すことがあまりない子なので、生のパフォーマンスの影響力の大きさを痛感しました。

これからたくさん楽しい体験をさせてあげたいと心から思いました。

息子だけでなく、周りを見渡すとみんな笑顔で、自然とリズムを取ったり手拍子が湧き、楽しんでいる様子を目の当たりにしました。

また父母の会での心魂の公演を楽しみにしています。

心魂プロジェクトのみなさん、準備をしてくださった役員のみなさん

ありがとうございました。

彦坂旺太(母 有美子)



侑歩の感想です

「楽しかった」「音楽が長くてよかった」

具体的ではないので、よく分かりませんが、「いろいろな音楽が聴けてよかった」ということが言いたかったのだと思います。

母は洋楽が好きなので、Change The World が聴けてとても嬉しかったです。

今回は心魂10周年記念公演でした。初回の公演は観覧していませんが、その後は何度か拝見する機会を頂いています。人と人の繋がり、出会って凄いな…と感慨深かったです。

親子共々歌うこと・踊ることは苦手ですが、鑑賞は好きなので参加できて良かったです。ありがとうございます。 島田侑歩(母 育己)



心魂プロジェクト デリバリーパフォーマンス～Our Story～感想 No.2

あいつピアで東三河ブロック訓練会に参加しました。心魂ミュージカルを見ました。始めに「喜びの歌」を歌い、次にミュージカルが始まりました。表情を上手く表せない私でも心魂の人が暗い気持ちの時は心が暗くなり、悲しい気持ちの時は声が出ませんでした。そして、大粒の涙が出てきました。楽しい時は大きな声で歌い、色々な表情が出てきて嬉しかったです。

次にスライドで色々な病気や障害の人達が「小さな灯を灯せ」を歌っている所を見ました。その次は「難病父母の会」の人達の笑顔のスライドでした。また「北海道ソーラン節」を歌ったり踊ったり、「笑顔の歌」を大声で歌いました。アンコールもありました。

終わりに心魂の幕を心魂の方達と持ち、集合写真を撮りました。

心魂のショップがあったので「ぼくが見つけたもの」という本を買い、帰りの車で読んだらとっても感動して本のページが濡れるほど涙が出ました。今度、心魂ミュージカルがあったら絶対見に行きたいです。その時、ショップが出ていたら違う本を読みたいです。

堀部美香



豊障連 夏祭り

令和5年8月26日(土)

於 さくらピア

コロナの為、お休みしていた夏祭り。行事を行う方も心配しつつ・・・そおっと行われました。総勢約100名の参加です。

さくらピアの入り口では栄工房さんによるだんご・五平餅などの販売があり、ロビーでは豊聴協さんによる缶バッジ作り。(私のは逆向きになってしまって…)

事務局によるお菓子のつかみ取り。小さな子は一つしか取ってはいけないと思ったらしく…もう一回。

体育館に入ると、のぞみさんの和太鼓。あわせて豊定会の方々と共に盆踊り。今年はサザエさんもあり大人も小人も楽しみました。

また、ワークス岩西さんのパンの販売もありました。3時から5時という短い時間で規模も縮小して行われましたが楽しめました。皆さん、お疲れ様でした。

袴田

野外療育訓練会～のんほいパーク～

5.9.24 (日)豊橋動植物園

令和年5年9月24日、野外訓練会が4年振りにのんほいパークで開催されました。

秋晴れの良いお天気で、やや日差しが強かったですが、総勢126名の方がみんな元気に参加してくれました。久しぶりにお会いした方が日陰で暑さを避けながら、にこやかに談笑している姿がみられ微笑ましい光景でした。受付、諸注意の後みんなまとまって入園しました。今年は大型映像がありませんでしたが、動植物園や乗り物等をそれぞれが楽しみました。

お昼にはおいしいお弁当をいただき、早速満足顔で食べている姿があちこちで見られました。ご馳走様でした。

*感想文を頂きましたのでご紹介します。

野外療育訓練会に参加して

今年の夏は、猛暑続きで外出、散歩もままならずお彼岸の季節になりました。9月24日(日)豊橋動植物園のんほいパーク、秋晴れです。

動物園を中心に回りました。間近に、マンドリル、パスタザル、シマウマ、キリン、コウノトリ、フラミンゴ、ライオン等、見ることができ、また動物たちの食事する様子、親子の様子もたくさん見ることができ良かったです。

木々も生い茂り、木陰も多く心身ともに秋の空気にふれ、心地よい一日を過ごすことができました。
ありがとうございました。

土本教貴

各自三々五々集合



【豊障連行事】

豊障連体育祭

(2023.10.22 於：さくらピア)

豊障連体育祭が4年振りに開催されました。

今年は今までと趣を変えて、司会進行を市内で活躍されているボランティアグループ・レディースレクわたぼうしさんにお願ひし、いろんな行事を楽しみました。

ラジオ体操で体を慣らし、みんなでハローハローを歌い楽しみ、そして大きな玉の玉送りでわいわいがやがや、その後は玉入れ、一人ずつ隠してある40種類以上の物を覚えておいて一覧表に書き上げる「何があるかな」と進み、サザエさん盆踊り、全員での合唱でお開きになりました。

午前中だけの行事でしたが、参加賞として美味しいパンをお土産にいただき、満足顔で帰路につきました。

障害を持った子どもたちがそれぞれの行事に合わせて自分のできることに挑戦し、みなさんのご協力のお蔭でケガも無く無事終わることが出来ました。

わたぼうしさん、楽しい行事を企画していただきありがとうございました。参加された皆さんもお疲れさまでした。

TN



立て看板



みんなで準備体操

◆豊橋体育祭に参加して

当日は秋晴れの穏やかな朝で久しぶりの体育祭で心弾ませて出かけました。さくらピアの体育館で受付をして4チームに組み分けされゼッケンを頂きました。開会式が始まり準備体操そして、選手宣誓があり競技に入りました。大玉送りなど5種目を楽しく頑張り、私たちのチームは3位でした。最後の演技種目「みんなで歌おう～紅葉～」は全員で合唱。アンコールの声があり、再度みんなで歌って閉会しました。とても楽しい体育祭をありがとうございました。 辻 佳真(父)

◆体育祭に参加して

3年ぶりに体育祭に参加しました。開会式の後、準備体操をしました。わたぼうしさんによる「ハローハロー」の歌を聞き、次に玉送りを全員で参加しました。1回目は勝ったけど2回目は紫チームに負けてしまい悔しかったです。楽しかったです。次は「バスケットボール玉入れ」、30-36で負けてしまいました。「何があるかな？」ではジャガイモとタワシとマツボックリを覚えることができました。次のサザエさんの曲ではダンスをしました。もう少し体を動かす体育祭がよかったけど、ダンスはとても楽しかったです。 堀部美香

「わいわいカーニバル ～かくちでフェスティバル～」

愛肢連

令和5年10月28日(土) 岡崎市中央総合公園 武道館



コロナ禍よりわいわいカーニバルはハイブリットで開催されています。豊橋でもあイトピアにサテライト会場として岡崎とオンラインでつなげて参加される方と岡崎現地で参加される方、またご自宅から参加される形とで申し込みを受け付けていました。

5類に移行された今年は、サテライト会場のあイトピアでのオンラインはやめて現地参加か、ご自宅からのオンライン参加とさせていただきます。

本来なら市のバスをお借りして現地に出向きたいところではありましたが、みなさんご自身で来場していただく形にもかかわらず20名のみなさんにお申込みいただきました。

おひるごはんは会場に来てから用意されたお弁当を食べ、13時より開会。

ご来賓には県会議員で愛肢連顧問でもある新海議員と愛知県障害福祉課の佐藤課長に起こしいただき、ご挨拶をいただきました。

豊橋市の新佳祐さんがはじめの言葉をみんなの前でしっかりと宣言して下さいました。

準備体操は心魂プロジェクトが全肢連の応援歌として昨年制作して下さいした「笑顔をつなごう!」の元気バージョン。お手本に愛産大三河高校の地域交流活動部の皆さんが前に立って下さいました。

その後は鬼退治リレー。チーム対抗でリモートの人を含めて応援をがんばったチームがボールをもらえて鬼に投げて倒すというもので、鬼役の高校生は迫力のある倒れ方をして盛り上がっていました。豊橋・豊川・田原の東三河勢は青チームでしたが2位でした。

次は〇×ゲーム。各地域ならではのクイズが出されるのですが、この問題のおかげで毎年その地域のことがかわかったりします。豊橋からも出題があり、奥平涼太くんとおかあさんが問題を読み上げて下さいました。ドラマのロケ地としてよく使われる豊橋市の問題でしたが、みなさんドラマをよく見られているのか?ほぼ全員に当てられてしまいました。



最後は愛産大三河高校のみなさんのよさこい。おなじみのパプリカやうらじゃではみんな盛り上がり、青チームの何名かは前に出て一緒に楽しんでくれていました。

久しぶりに現地に参加したみなさんの笑顔はとともよかったです。

参加賞や競技の景品と…みなさんたくさんのお土産を手にして会場を後にしました。来年からはバスでみんなと楽しく岡崎まで出かけられると

いいな…とおもいました。皆さんお疲れさまでした。多くのボランティアさん、岡崎市父母の会の皆さん、愛産大三河高校地域交流活動部のみなさん、準備から片付けまでありがとうございました

わいわいカーニバル ～かくちでフェスティバル～ 感想文

10月28日に岡崎市武道館で「わいわいカーニバル」に参加しました。

最初に、全肢連応援歌「笑顔をつなごう！」を歌い踊りました。この歌を作ってくれた「心魂プロジェクト」の皆さんも一緒に来て歌って欲しかったです。

応援リレーでは、鬼役の高校生のお兄さんが、カッコよく大迫力で倒れてくれたので、鬼退治した気持ちになりました。

一番楽しかったのは、〇×クイズです。『愛産大三河高校の部活の正式名はボランティア部である!? 〇 or ×』の問題に正解して、正式名が「地域交流活動部」とわかりました！よさこいの踊りも、前で踊ることは恥ずかしくて出来なかったけど、後ろで踊っても楽しかったです。また来て下さい。

尾崎元哉



【社協主催行事】

2023年度

障害児（者）とボランティアの集い

5.11.12 さくらピア

11月12日（日）さくらピアで障害児（者）とボランティアの集いが4年振りに開催されました。当日は父母の会会員20名のほか、育成会、各施設の方たちおよび民生委員、中央、豊橋東、豊橋南、藤の花等高校生のボラさん、そして進行役の福祉レクつくしのみなさんの総勢約130名が参加し賑やかに楽しく開催されました。

今年のテーマは「みんながかがやく いちばんぼし」です。3班に分かれて、キャップをつかったアートづくりをボラさんに手伝ってもらいながら「真剣に一生懸命」作りました。創作に挑戦しているみんなの表情は真剣そのものでした。

昼食はあいトピアに移動し「カレー」を美味しくいただきました。ご馳走さま。お昼休みには中央高校生による素晴らしい音楽演奏です。

午後は、ボール運びや楽しくダンス、巨大な風船遊びです。ダンスはリズムに乗って腰や手足を動かしたり、車いすで頑張って踊ったりして、ボール運びや風船あそびはみんなでワイワイガヤガヤと楽しいひと時を過ごしました。

普段体を動かす機会の少ない子供たちにとってとても楽しい一日となりました。お疲れさま。

TN

ボランティアの集いに参加して

さくらピアで行われた障害者とボランティアの集いに初めて参加させていただきました。

最初に仲良しのお友達とチームが別れてテーブルが離れてしまったので、少しテンションが下がった様子でした。レクリエーションのキャップアートではボランティアの学生さんが、かなえのそばに来て、「一緒にやりましょう」と何度か声をかけてくれましたが、下を向いたまま動くことができなくて申し訳なかったです。

プログラムを見ながら友達の名前を探したり次に何をするのか気になっている様子でした。

昼食の時間になり、あいトピアへの移動では少し気分が変わった様で学生さんと手をつないで歩いたり一緒にカレーライスを頂くことができました。

中央高校の音楽演奏はとても良かったです。かなえも知っている曲が流れると嬉しそうに聞き入っていました。

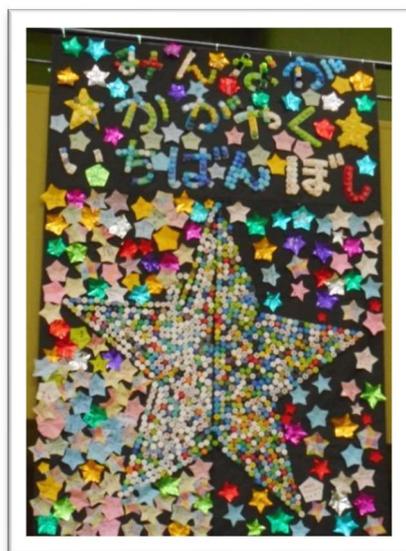
その後も風船遊びに少し参加することができました。

ボランティアの学生さんたちが、明るくて優しくしてくれたので少しずつ緊張がほぐれ楽しむことができ嬉しかったです。また次回も参加できるといいなと思います。

ありがとうございました。

高木奏衣の母

障害児（者）とボランティアの集い 「みんながかがやく いちばんぼし」



【豊障連行事】

「みんなのコミュニケーション～重度心身障がい者との会話について～」

日時：2023年11月11日 場所：さくらピア

発表：鳥畠美代子(息子：大翔)

上記行事にて、息子大翔とのコミュニケーションについてパワーポイントを使い紹介させていただきました。概要は以下の通りです。

1. 大翔の生い立ちと現在の状態

大翔とのコミュニケーションを紹介する前に、コミュニケーションのベースとなる大翔の生い立ちと現在の心身の状態を紹介させていただきました。

(1)大翔の生い立ち

2004年7月に生まれてから2023年3月豊橋特別支援学校高等部を卒業するまでお世話になった施設や学校、主な治療歴を紹介

(2) 現在の大翔

現在の大翔の様子を、身体面・知的面・情緒面などに分けて説明

2. 大翔とのコミュニケーション

(1)コミュニケーションを行う上で大切なこと

コミュニケーションを行う上で大切なことは幾つかありますが、他人に興味を示さなかった大翔が施設や学校で多くの方と触れ合うことで、「相手に興味を持つ」・「相手の表情や視線をよく見る」の2点が出来るようになったことを紹介

(2)大翔の出来るコミュニケーションの手段

「①言語、②非言語(身振り、しぐさ、表情など)、③文章、④視覚情報(写真、絵、グラフなど)」の4つに分け、それぞれでの大翔の出来るコミュニケーションの手段を紹介

① -1 言語(大翔から)

「おんが(音のなる絵本)」、「おわん(ご飯)」など数は極めて少ないが、自身の大好きな物事について自発的な発語あり

① -2 言語(相手から)

自発的に発する言葉なら相手からの発語も理解できるが、言語についての理解は難しい。オウム返しはよくする

② -1 非言語(大翔から)

大翔にとっては一番のコミュニケーション手段。相手への要求のほとんどを身体動作や言葉にならない声で表す。

現在の大翔

目
軽度の近視(正確な測定は不可能)

耳
・軽度の難聴(正確な測定は不可能)
・滲出性中耳炎のためチューブを入れている
・中耳炎になりやすい

鼻
・鼻腔が狭く、鼻が詰まりやすい

口
・咀嚼に難。ほとんど丸のみ
・ほぼ口呼吸



知的面
・物事や言葉の理解は難しい
・自発的な発語はほとんどなし

情緒面
・年齢とともに落ち着いてきたが、今でも大声を出すことが度々あり
・定期的に夜寝なくなる

身体面
・筋力が弱く、両股関節脱臼、左肘脱臼。首も脱臼する危険あり
・独立独歩は難しく、主な移動手段は車椅子
・手足の使い方に難あり

その他
・甲状腺機能低下症
・重度の便秘
・身辺自立は難しく、生活のほとんどで介助が必要

①-1言語でのコミュニケーション(大翔から)

約19年間様々な方からの声掛けやご尽力で、数は少ないですが自発的に以下の発語はあります。

- ・「おんが」
好きな音のなる絵本が欲しい時
- ・「ばかばか」
好きな遊びのセット(ボールのような入れ物にボールを入れて回す)が欲しい時
- ・「おちゃ」
飲み物が欲しい時
- ・「おわん」
ご飯が欲しい時
- ・「ちゅっちゅる」
麺類が欲しい時
- ・「ばいばい」
相手にどこかへ行って欲しい時
※「さよなら」の意味では自発的にはあまり言いません

- ・全て要求からくる言葉
- ・自分が大好きなものについてがほとんど

② -2 非言語(相手から)

人々の表情・声色・しぐさ
光、匂い、部屋の様子など、
その時の状況から様々な情報
得て判断している。

③ 文章

自分からも相手からも理解は難しい

④ -1 視覚情報(大翔から)

大翔からはほとんどなし

⑤ -2 視覚情報(相手から)

具体的な物事をカード化し理解できるよう何度も繰り返し使えば理解できるようにはなるが、かなりの時間と根気を要するため、今はあまり利用していない

このようにコミュニケーション手段の少ない大翔ですが、出来る手段を使って一生懸命相手のことを知ろうとし、また自分の事を伝えようとしています。そんな大翔の最強のコミュニケーション手段は、笑顔です。

3. 今後の目標と将来への期待

高等部を卒業し、今まで利用できた
リハビリ施設や病院を利用することが
出来なくなる不安の中、今後の目標と
あわせて将来への希望(主に科学技術の進歩)
を語らせていただきました。

(1) 目標

- ・ やっと出来るようになったことが出来なくならないよう、引き続き努力していく
- ・ 様々な人と触れ合い「人と人とのコミュニケーションは楽しい」と思い続けられるようにする
- ・ コミュニケーションが楽しくできるよう、健康に気を付ける

(2) 将来への期待

- ・ 大翔の考えていることや、排せつなどの生理現象が分かるような機器の開発
- ・ メタバース(仮想空間)で世界の人々と交流できるようになる
- ・ コミュニケーションロボットに大翔の友達になってもらう



以上

②-2非言語でのコミュニケーション(相手から)

人々の表情・声色・しぐさ、光、匂い、気温、部屋の様子等、その時の状況から大翔なりに様々な情報を得ていると思います。

例えば…

・ごはんの時間は

「ごはんだよ」などの掛け声
おいしそうなおい
机にお皿が並んでいる
お腹がすいてきた



ご飯だ 🍚

・相手の機嫌が気になるとき

顔の表情、声色、口調、しぐさ



怖いなあ 💧

16



受賞誠にありがとうございます!!

第41回愛知県心身障害児(者)福祉大会

今年の心身協福祉大会は県社会福祉会館でコロナ前の形で表彰式等が行われ下記の方々が受賞されました。

第二部では清水里佳子さんと中西美知子さんによるバイオリン二重奏が演奏され、素晴らしい音色に参加者全員が聴きっていました。

<知事表彰>

(自立更生者) 辻 佳真

<会長表彰>

(自立更生者) 森 貴広

// 河合夏季(田原)



辻 佳真さん



森 貴広さん



河合夏季さん



第二部 バイオリン演奏

友だち紹介



田中 千景
(たなか ちかげ)

【通所先等】
童里夢・奏楽

【好きな事・今後の夢など】

ユーチューブを観ること。ドライブに行つて、おいしい物を食べたいです。お城にも行きたいです。

【趣味・得意なこと】

嵐のCDを聞いたりDVDを観たりすること。

【がんばっていること】

奏楽に行つてクッキーの袋に貼るシールの字や絵をがんばって書くこと。お昼休みにする体力作りの散歩距離を伸ばして体力をつけたいです。



大場 柊歌
(おおば しゅうか)

【学校名・学年】
豊橋特別支援学校
小学2年

【好きな事】

トランポリンや布ブランコ等で揺れること。食べること・音楽を聴くこと。

【得意なこと】

バウンサーを自分で揺らして楽しむこと

【がんばっていること】

給食の時にスプーンを握つて先生に支えてもらいながらご飯を口に入れること。歩行器でびよこびよこ進むこと。とっても小さいですが、給食いっぱい食べて学校生活楽しんでます！



藤原 英行
(ふじわら ひでゆき)

【通所先等】
社会福祉法人来夢
(実結の森)

【好きな事】

ドライブ。
雑誌「はなまる」を見ること。

【得意なこと】

コインを一度に何枚も回すこと。

【がんばっていること】

毎日散歩をがんばっています。



菅沼 嶺寧
(すがぬま ねね)

【学校名・年齢】
豊南小学校 (タンポポ組)・12才

【好きな事・食べ物】

工作と歌うこと。好きな食べ物はお肉です。

【趣味・得意なこと】

歌を聞いたり、歌ったり、ダンスをすること。

【がんばっていること・PR】

今年になってしゃべることが増えました。みんなにスピーチするのが大好き。ねねに捕らえられたら聞いてあげてね。ひらがなが読めるようになりましたが、文章はまだ書けません。

ともだち紹介も H25/1 月より 12 年経過し、次回 55 号(R6/5 月発行)より新入会員紹介に衣替えさせていただきます。ありがとうございました。皆様のご協力を深く感謝申し上げます。





<今後の主な行事予定>

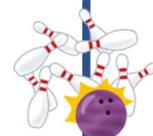


1月 6日(土) ○はたちのつどい・あイトピア

2月25日(日) 豊障連&北ライオンズクラブ懇親ボーリング大会

3月30日(土) 定期総会・あイトピア

○印の参加募集はありません



**※予定は順次ご案内いたします。急な変更・中止となる場合がございます。
ご了承のほどお願い致します。**

☆あとがき☆

- ・今回の表紙は渡辺洋文さんの作品です。「久しぶりの動物園はいろいろと新しくなっていて動物の、のびのびとした姿を見ることができて楽しかったです。」とコメントいただきました。素敵なお作品をありがとうございます。

・「父母の会ふれあい短期介護支援」「父母の会入院付添い支援」を活用しましょう。短期介護支援や入院付添い支援は緊急時や入院時に見てもらおう人がいないとき、同居以外の親族等にみてもらい、その介護支援費用（1日4時間以上・5,300円）のうち4,500円を父母の会で負担するものです。使ってみてほしいと思われた時、分からない事があった時には遠慮せずにご相談ください。会員の皆さまのご意見、ご要望を受けてより利用しやすい事業にしていきたいと思っています。

- ・父母の会相談員は中神達二、鈴木智江子、後藤久代、松井理津子、磯田しのぶ、尾崎博美、奥平久美子です。悩み事・心配な事、何でも気軽に相談してください。
- ・原稿や感想文を寄せていただいた方には、クオカードまたは図書券をプレゼントしています。積極的に投稿をお願いします。
- ・新会員も大募集中です。お友達、お知り合いの方でまだ父母の会に入会されていない方がありましたら是非ご紹介ください。手帳をお持ちであれば障害の種別は問いません。
- ・年会費は¥2,000です。年会費は振込みも出来ます。年会費がまだ納めてない方は下記の振込先に振り込みをお願いします。（できるだけ同封しています振込用紙をご使用ください）

ゆうちょ銀行 口座番号 00840-1-135126 加入者名 豊橋市肢体不自由児(者)父母の会
ゆうちょ以外の銀行等からの振込の場合 ゆうちょ銀行:店番 089 口座番号 0135126 口座名:同上

<お願い>

- ・いろいろな行事について出席のご返事のあと変更になった場合は中神 まで電話または FAX かメールにてご連絡お願いいたします。

TEL : 0532-23-3217

FAX : 0532-23-4830

E-mail : rsa34375@nifty.com